

中部地整

CIM成果を検証

12～13年度の試行結果活用

国土交通省中部地方整備局は、CIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)の試行導入について、2014年度以降、成果の検証を本格化する。同局は12年度、国道155号豊田南バイパス(BP)の詳細設計でCIMを初めて試行。13年度は、予備設計など業務3件、工事2件で試行を予定しており、これまでに受注者と契約した。予備設計の次は詳細設計、詳細設計の次は工事、工事の次は維持管理といった形で順次、試行で得られた3次元データを活用し、CIMの有効性を検証していく。

CIMは、土木構造物での試行を進めてきた。3次元データを核として、周辺環境や部材、コストといった関連する情報を「ひも付け」し、調査・設計・工事・管理といった事業全体のサイクルを効率化する技術。国交省はこれまで、16年度を目標としたロードマップにのっとり、直轄事業

現在の、導入計画の見直しを行っており、先導的な導入事業の在り方などを検討している。中部地整は12年度、愛知県三河地域で整備を進めている国道155号豊田南BPの「横山区道」

13年度は、予備設計と詳細設計、地質調査で各

1件、工事2件でCIMを試行する。

業務の3件については、年度末に提出される3次元データなどの成果物を、14年度の次の作業でどのように生かせるか確認する。

工事2件は、いずれも受注者の希望によりCIMを試行することにし

た。施工時に作成したデータを、完成後の維持管理にどのように活用していくかを検討する。

このほか、新規の工事

・業務についても、国のロードマップを見ながら、順次試行していく方針。

【建設ICT】

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 | 5. 日刊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 | 12. 工業 |
| 10. 中部 | ① 建通 | 12. 日刊 | 15. 海 |
| 13. 建設 | 14. 信濃 | 15. 日本 | |
| 16. 建設 | | | |

平成26年1月15日(朝)・夕) P1

建通新聞

中部